

立志の道



2019. 6. 27 NO.8
発行責任者 校長 小池雅美

甲陵中・高への通学者が近道として利用する立志の道。
校訓「立志躬行」の実現への道のりを、中学校の教育活動の様子を通して、随時お伝えしていきます。

楽しく過ごした2日間の紫蝶祭を振りかえって



6月22日(土)、23日(日)、甲陵中・高の紫蝶祭が開催されました。当日までは、雨天の天気予報で心配されましたが、全く雨は降らず、全て予定通り開催されたことは本当に良かったと思います。甲陵生の思いが通じたかのような2日間でした。中学生は、高校生のパワーと企画力と実行力に圧倒されたことと思います。後夜祭での実行委員の高校生の涙には、どんなことを感じたのでしょうか。

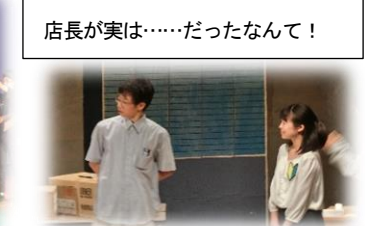
中高一貫校ならではの学園祭。楽しいながらも学ぶことも多かったですね。

3年生の「何でも運送業」

店長が実は……だったなんて！



1, 2年生の発表
皆、かっこよかった！



箏曲部 見事な演奏！



美術部 渾身の作品！



体育祭
競技も応援も全力で！

PTA作品への出品ありがとうございました。



紫蝶祭へは、PTAの協力も欠かせませんでした。体育館で展示されたPTA作品もご覧いただけただけでしょうか？どの作品も素晴らしいもので見応え十分でした。本当にありがとうございました。



甲陵中の先生方の似顔絵カルタ(!)は、学校にいた

いただきましたので玄関付近に展示してあります。来校の機会にじっくりご覧下さい。

「考え、議論する道徳」を目指して

「道徳」が教科化されているということを、以前にもお知らせしました。甲陵中でもこのことを受けて、先生方も研究会を持ちながら実践を続けています。

26日は、中北教育事務所からお二人の指導主事をお招きして、清水増美先生が2年生のクラスで「公正とは」をテーマに研究授業



を行いました。不正入試の記事を見て、「不正はいけない」と皆が確認した中で、「わたしのせいじゃない」という教材を読みました。子どもたちの中でいじめが起きていることを想像させる内容でした。「誰もが「公正」が良いことを分かっているのに、この資料の中の人たちはなぜ、このようなことを言うのだろうか？」という問いに、一生懸命考える姿がありました。席を立てて多くの人と意見交換をしながら、さらに考える……。3年生も先日扱った教材です。あなたはどのように考えますか？
以下、授業後の感想の一部です。



はじめは皆さんと同じで「自分を守るため」「自分がいじめられないようにするため」という考えだったのだが、「自分と同じ意見を持つ人と確認し合うため」ということを聞き、いいと思った。最も同感したのは「違う人(いじめられる人)を一人置き、その人とは違うんだ、と確認する」という意見で、いじめる側の心理はそうなのかも知れないと思った。改善するためには全員のことを認め合うことが大切だと思う。

「自分は関係ない」と言えば、何も言われぬし、責任から逃れられる……。その考えから誰もがその言葉を口にします。そこで、皆と違う、誰かを救う一言を言えるかどうか、その勇気があるかどうか……。考えさせられた時間でした。

授業では客観的に考えているので、「わたしのせいじゃない」は、まぎれもなくいけないことだと分かります。しかし、いざこの状態になれば、教科書の子どもたちと同じような言動をとってしまうかも知れません。自分の言動は果たして正しいのか、自分の正しいは、人から見て正しいのか、考えて生活したいと思います。

6月29日(土)甲陵中第1回学校説明会 開催します

来年度の生徒募集に向けての取組が始まります。模擬授業や生徒発表がありますので、現役中学生として頑張ってください。1年生の保護者の皆さまには、駐車場係などへの協力ありがとうございます。